

充 実

こども夢・チャレンジ推進事業

こども未来部 こども政策課
教育委員会事務局 学校教育課

1 予 算 額 35,243千円

2 目的及び効果 「こども夢・チャレンジNo.1都市」の実現に向けて、こども
の夢を育み、夢へのチャレンジを応援する事業を展開し、
世代を越えてつながるまちづくりを進めます。

3 事業概要

○夢にチャレンジ助成金支給事業 1,068千円(こども政策課)

自分の夢を実現するための計画を募集し、チャレンジしたい内容をプ
レゼンしてもらい、優秀者に助成金を支給します。

【対 象】 15歳以上25歳以下の高校生、大学生、社会人等及び
市内在学の学生。本人もしくは、保護者が住民登録等。
(市内在学の場合は住民登録がなくても可。)

【助成額】 上限30万円

自分の夢を自ら考え、その夢を発表する場を設け、将来助成金を
利用してもらう契機とします。

【対 象】 市内在住の中学生

【発表記念品】 図書カード1万円分 【参加記念品】 図書カード1千円分

○大学生等海外留学奨学金支給事業 3,700千円(こども政策課)

海外の大学等に、3か月以上留学しようとする大学生等に奨学金を
支給します。

【対 象】 15歳以上25歳以下の高校生、大学生、社会人等。
本人もしくは、保護者が住民登録等。

【助成額】 留学先の国・地域に応じて、12か月を上限として、
月額4～5万円を支給。

○ **充実** 学習支援事業「駒来塾」 5,765千円(こども政策課)

家庭環境により家で学習する機会がない、経済的理由により学習塾に通えないなど、学習意欲があっても学力の定着が進んでいない中学生を対象に、教員OBや教員を志望する大学生など地域の協力を得て、一定レベルの学力が定着できるよう学習支援を実施します。

【対 象】 中学1・2・3年生（学習塾に通っていないこと）

【教 室】 東部地区(篠岡中・桃陵中・光ヶ丘中)

北里地区(北里中・小牧西中)

味岡地区(味岡中・岩崎中)

小牧地区(小牧中)

新規 南部地区(応時中)

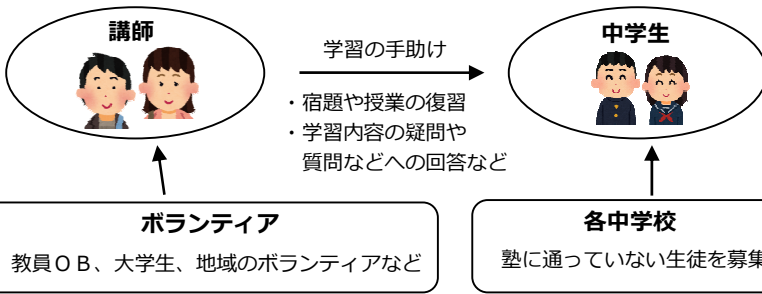
【開催日】 毎週木曜日(南部地区以外) 午後6時30分～8時
毎週水曜日(南部地区)

【実施場所】 東部市民センター、北里市民センター、
味岡市民センター、中部公民館、ふらっとみなみ

【参加費】 無料

※駒来塾のイメージ

基礎学力の定着をめざして学習支援活動を実施します。



○**新規**高校生等社会参画事業 780千円(こども政策課)

高校生等が身近な課題や関心事について自らプロジェクトを立ち上げ、課題解決を目指した取り組みを発表することで、意見表明や社会参画を通して地域や社会に主体的に関わる意識を育みます。

【対 象】 主に市内在住、在学の高校生等

【活動拠点】 こまきこども未来館

○JFAこころのプロジェクト「夢の教室」開催事業 5,930千円

(学校教育課)

JFAこころのプロジェクト「夢の教室」(日本サッカー協会)のカリキュラムにより、様々なスポーツ選手が「夢先生」となり、小学5年生を対象に「夢の教室」と題した90分の授業を学校で実施します。夢を持つことの大切さ、仲間と協力することの大切さを伝え、こどもたちの精神的な成長を図ります。

○**充実**特色ある学校づくり推進事業 18,000千円(学校教育課)

教科横断的な視点に立ったカリキュラム編成により従来の総合的な学習を一層充実させ、こまき「夢☆チャレンジ」科として「こども夢・チャレンジNo.1都市」の基本理念に則った、より発展的で持続可能な「探究的な学び」を推進します。

高校・大学等進学支援事業

福 社 部 福祉総務課 教育委員会事務局 学校教育課

1 予 算 額 13,200千円

2 目的及び効果 進学する向上心に富みながらも、経済的に困難な状況にある学生・生徒の進学を支援します。

3 事業概要

○大学等進学応援交付金支給事業 2,040千円(福祉総務課)

親からの援助を受けることが困難な状況にありながら、大学等に進学した学生等に対し応援交付金を支給します。

【対 象】児童福祉施設等に入所措置されている大学生等及び
進学を理由に生活保護世帯から世帯分離された大学生等

【助成額】年間12万円

○奨学交付金交付事業 12,000千円(学校教育課)

経済的に恵まれない生徒が高等学校等へ進学する場合に、
入学準備金を交付します。

【対 象】小牧市の中学校を卒業し、高等学校等へ進学する
向上心に富み、経済的に恵まれない生徒

【助成額】12万円

こまきこども未来館運営事業

こども未来部 多世代交流プラザ

1 予 算 額 139,638千円

2 目的及び効果

「こども夢・チャレンジNo.1都市宣言」の理念を実現する施設として、「未来リテラシーを育む」というコンセプトのもと、子ども達にこれからの未来を力強く生き抜く力を育てる豊かな「学び」を提供し、小牧の子ども達やまちの「成長のシンボル」として、いつまでも愛される施設を目指して運営します。

3 事業概要

(1)こども未来館受付業務及び講座開催委託

地域のサポーターや企業、大学などと協力し、体験ひろばにおいて、遊びや体験を通じて子ども達自身の学びにつなげられる講座を開催するとともに、ものづくりに携わる人材を育成する「少年少女発明クラブ」を実施します。

(2)こまき巡回バス運賃負担

市内全域の児童が気軽にこまきこども未来館に来館できるよう、こまき巡回バス「こまくる」を利用した際の児童の運賃を市が負担します。



保育料無償化拡充事業

こども未来部 幼児教育・保育課

1 予 算 額 91,565千円

(歳入影響額 △177,147千円)

2 目的及び効果 人口減少及び少子化が進展している状況の中、物価高騰などの影響により、負担が増加している子育て世代の負担軽減、より手厚い子育て支援を行うため、保育園等を利用する児童の保育料の無償化を市独自に拡充します。

これにより、「子育てしやすいまち」、「子育て支援が充実しているまち」を市民に実感していただき、いつまでも「住みたい」、「住み続けたい」と思えるまちづくりの実現を推進します。

3 事業概要

令和元年10月より無償化の対象となっている3歳児から5歳児に加え、市独自の少子化対策の拡充として、市内の保育園(21園)、認定こども園(2園)、小規模保育事業所(20園)に通う、0歳児から2歳児までの園児の保護者負担金(保育料)を所得、児童の出生順位に関わらず、無償とします。



充実 子育て世代包括支援センター運営事業

こども未来部 子育て世代包括支援センター

1 予算額 317,597千円

2 目的及び効果 妊娠期から子育て期にわたり切れ目のない子育て支援を行う「子育て世代包括支援センター」を運営することで、一層の子育て支援を推進します。

3 事業概要

- 充実**妊婦・産婦・乳児個別健康診査事業 128,687千円
生後 1 か月頃の乳児を対象に発育状況や栄養状態、身体異常の早期発見等を目的として、健診内容の充実を図り、医療機関との連携を強化します。
- 充実**母子保健型利用者支援事業 22,862千円
すべての乳児のいる家庭を訪問し、支援が必要な家庭に対して適切なサービスの提供に結びつけます。

主な継続事業

- すくすく子育て応援事業（経済的支援） 108,950千円
- 妊娠・出産包括支援事業（産後ケア事業） 8,809千円
- 子ども家庭総合支援拠点事業 21,161千円
- 一時預かり事業 27,128千円



児童生徒 1 人 1 台タブレット整備事業

教育委員会事務局 学校教育ICT推進室(※)
(※R7.4.1～ 学校教育課)

1 予 算 額 70,700千円

2 目的及び効果 モバイル性に優れ、使い勝手の良い児童生徒用タブレットを整備することにより、安全で快適なICT教育環境を整備します。

3 事業概要

○令和2年度整備分(GIGA スクール構想分)

令和7年 12 月末にリース期間満了となる児童生徒用タブレット(全小学校、令和6年度に更新を行った小牧中・篠岡中・光ヶ丘中以外の6中学校分)約 10,500 台の更新を行います。

児童生徒用タブレットとあわせて、授業支援ソフト、デジタルドリルソフト、フィルタリングソフト等の更新も行います。



新規

5歳児健康診査事業

健康生きがい支え合い推進部 保健センター

1 予 算 額 5,112千円

2 目的及び効果 言語理解や運動能力が向上し社会性が発達してくる5歳児に対して、成長・発達等を保護者と確認し、特性に合わせた適切な支援が受けられるよう健康診査を実施することで、幼児の健康の保持及び増進と就学までの切れ目ない支援を図ります。

3 事業概要

その年度に5歳に到達する児童に対して、5歳児健康診査を実施します。

実施方法: 集団健診(年間36回)

実施場所: 保健センター

実施内容: (1)身体発育

(2)栄養状態

(3)精神発達

(4)言語障がいの有無

(5)育児上問題となる事項の確認

(生活習慣の自立、社会性の発達、しつけ、食事等)

(6)その他疾病及び異常の有無

お子さんの成長・発達を保護者の方と確認し、特性に合わせた適切な支援につなげます。



新規 電子カルテ・健診予約システム整備事業

健康生きがい支え合い推進部 保健センター

1 予 算 額 16,311千円

2 目的及び効果 乳幼児健康診査で使用するカルテを電子化することで、関係部署間で情報を即時に共有し、迅速に必要な支援を実施可能とします。また、健診予約日の変更や問診票の作成をスマートフォンから可能にして、市民の利便性の向上を図ります。さらに、システム化による業務効率化を図り、コスト削減を図ります。

3 事業概要

○電子カルテシステム

保健センターで実施している乳幼児健康診査において、健診時に受診者の健診結果を直接オンライン入力できる電子カルテを導入し、関係部署間で情報をリアルタイムで共有し、必要な支援が迅速に行えるようにします。

○健診予約システム

乳幼児健診の日程変更や問診票の記入がスマートフォンなどのWEB上で可能となる「健診予約・問診システム」を構築し、健診受診者の利便性の向上を図ります。



充実

不妊不育治療等助成事業

健康生きがい支え合い推進部 保健センター

1 予 算 額 23,620千円

2 目的及び効果 不妊治療は、身体的及び経済的な負担が生じます。妊娠を希望するご夫婦に対し、不妊治療に要する費用を助成し、経済的負担の軽減を図ることとで、子どもを産み育てることができるよう助成します。

3 事業概要

令和7年度から従来助成をしています一般不妊治療、不育症治療の助成に加え、新たに生殖補助医療についても助成します。

○一般不妊治療助成事業

不妊検査、不妊治療、人工授精に要する治療費について、年間50,000円を上限とし継続する24か月(2か年)助成します。

○**新規**生殖補助医療助成事業

体外受精、顕微授精など保険適用の治療費と先進治療などの保険適用外の治療費について、1回あたり100,000円を上限に助成します。(年齢により回数制限あり)

○不育症治療助成事業

不育症の検査や治療に要する費用について、1回の治療あたり150,000円を上限に助成します。



出会い・結婚支援事業

こども未来部 出会い・結婚支援室

1 予算額 21,200千円

2 目的及び効果 少子化の要因の1つである未婚及び晩婚の増加に対する取組として、出会いの場の提供や結婚にかかる経済的支援を行うことで、若年世代が希望する結婚の一助となるだけでなく、社会全体で結婚を応援するという機運の醸成に繋がります。

3 事業概要

○結婚支援委託事業 5,000千円

結婚を希望する方の出会いの機会づくりを目的としたイベント開催や結婚に対する悩みなどが相談できる体制を整えます。また、結婚を望む方が将来のライフデザインを希望を持って描けるようライフイベントについて考えるセミナーを開催します。



○結婚新生活支援補助金支給事業 16,200千円

結婚に向けた準備に経済的な不安を抱える若年世代に対して、一定の所得以下の新婚世帯を対象に引っ越し費用や家賃の一部を支給します。

【対象】 令和7年1月1日から令和8年3月31日の間に婚姻夫婦ともに婚姻届を提出した日における年齢が39歳以下
令和6年中における夫婦の所得合計額が500万円未満
などを満たす世帯

【助成額】 夫婦ともに29歳以下の世帯 上限60万円
夫婦ともに39歳以下の世帯 上限30万円

新規

米野児童クラブ整備事業

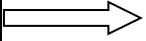
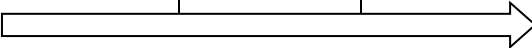
こども未来部 こども政策課

1 予算額 2,362千円

2 目的及び効果 米野小学校の全面改築にあわせて、新校舎内に米野児童クラブを整備することで、昼間保護者が就労などで家庭にいない児童を対象に、家庭に代わる適切な遊び及び生活の場を提供し、児童の健全な育成を図ります。

3 事業概要 米野小学校改築工事に伴い、令和7年8月頃に現クラブ棟は取り壊しとなるため、令和7年7月から米野小学校プレハブ校舎に開設場所を移転し、児童クラブの運営に必要な整備を行います。

＜令和7年度事業スケジュール＞

時期	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
	 手洗い場等、設置工事  家具什器等移設			
		 プレハブ校舎で開設(令和9年3月まで)		

充実

養育費確保支援助成金支給事業

こども未来部 こども政策課

1 予 算 額 950千円

2 目的及び効果 養育費の取り決めに係る費用を助成することにより、ひとり親家庭の安定した生活とこどもの健やかな成長を図ります。

3 事業概要 養育費に関する公正証書の作成や養育費保証契約に係る費用に加え、養育費確保に関する弁護士費用の一部を助成します。

【対象者】

ひとり親で、養育費の取り決めに係る費用を負担した方

【助成額】

- ・公正証書等作成費用(上限額4万円)
- ・養育費保証契約保証料(上限額5万円)
- ・**新規**弁護士費用(上限額10万円)



保育園適正配置・整備推進事業

こども未来部 幼児教育・保育課

1 事業年度 令和4年度～

2 予算額 453,593千円

3 目的及び効果 増大する保育需要に対応するため、老朽化した公立保育園の統合や改修、私立保育園等の誘致を計画的に推進し、安全安心で快適な保育サービスを提供します。



4 事業概要

(1) 古雅保育園の大規模改修 76,989千円

(継続費〔令和6・7年度〕 207,889千円)

園舎の長寿命化等を図る改修工事を行い、早ければ令和10年度の陶保育園との統合を見据え、快適な保育環境を整備します。

(2) 小規模保育事業所の整備 119,362千円

中部地区に令和7年度中の開園を目指し、小規模保育事業所(3施設)を整備します。

(3) 私立保育園の整備(間々原新田地内) 222,438千円

北部学校給食センター北側の市所有地に、令和8年度の開園を目指し、私立保育園を整備します。

(4) 第二保育園の改築 34,804千円

老朽化している園舎の改築を推進し、早ければ令和9年度の開園を目指します。

(仮称)第一こども園施設建設事業

こども未来部 幼児教育・保育課

1 事業年度 令和4年度～令和8年度

2 予算額 347,308千円
(継続費[令和7・8年度] 1,078,876千円)

3 目的及び効果

第一幼稚園の建物は昭和49年度に建築し、園舎の老朽化が進んでいることや園児数の減少などの課題があります。近隣の大山保育園においても園舎の老朽化、保育室不足や送迎用の駐車場が十分に確保できないなど立地条件の問題が浮き彫りとなっています。

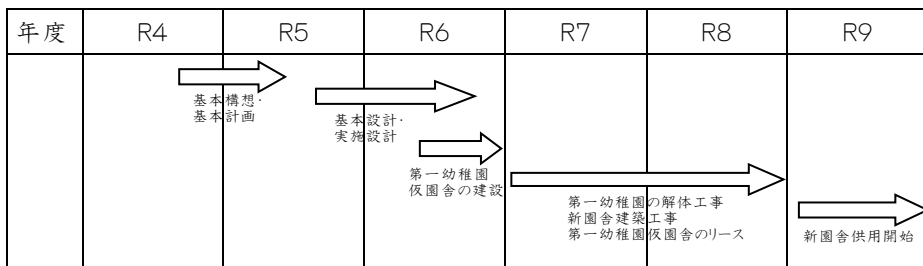
両園が抱える課題を解決し、引き続き安全安心な幼児教育・保育を行うため、第一幼稚園と大山保育園を統合した、公立の認定こども園の整備を推進します。



現在の第一幼稚園

4 事業概要

令和7年度は、第一幼稚園の解体工事、(仮称)第一こども園の建築工事等を行います。



建設スケジュール